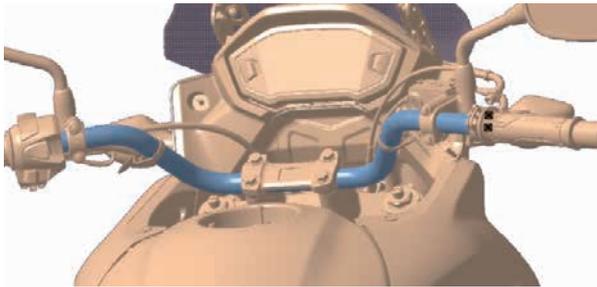


●ハンドルまわり

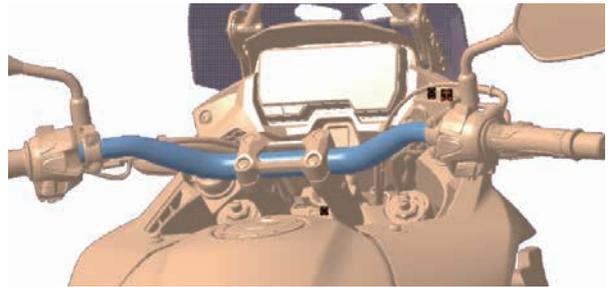
フラットダート走行時に、マシンを押さえやすいフラットワイドバーハンドルを採用。テーパー形状とすることで、フラットダート走行時においても、ダイレクトで反応の良い軽快なハンドリングとともにタフな外観を演出しました。

■ハンドルまわり新旧比較 (イメージCG)

従来モデル



NEWモデル



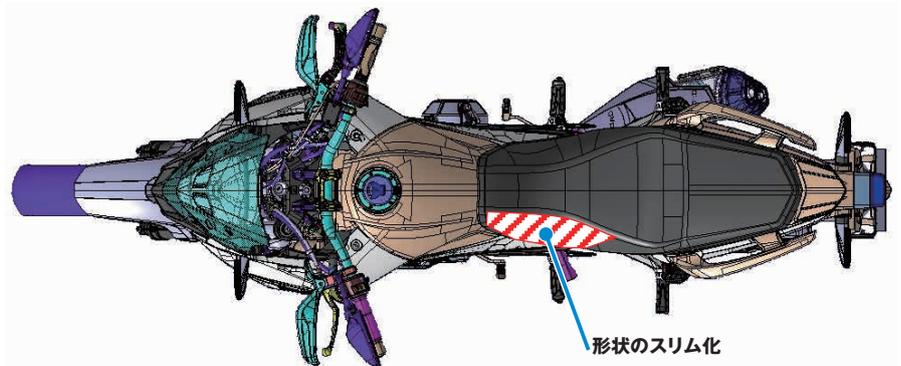
●シート形状

車体ディメンション変更により高くなったシート高(+約5mm)の影響で、扱いやすさが損なわれる事がないよう、シート前側角部形状をスリム化し、従来モデルと同等の足つき性を確保しています。

■シート形状 (写真はCB500Xで欧州仕様車)



■イメージCG



●クラッチレバー

アシストスリッパークラッチの採用とあわせてクラッチレバーの形状を変更。指掛かりや握りやすさを追求した形状とし、ストレスを軽減したクラッチ操作フィーリングとしています。



■クラッチレバー (写真はCB500Xで欧州仕様車)